

令和3年度南区区政運営方針取組結果シート

【めざすべき南区の姿】 災害に強く安心安全なまち

施策 1 自助力・共助力・公助力の向上を進めます

事業名		取り組み結果	評価	担当部署
1	防災意識啓発事業の実施・支援	市が主催する催物（イベント等）に係るガイドライン等に従い、必要な感染防止対策を講じて、計61件の各種講習等を実施しました。結果的に、中止となった行事もありましたが、対象者に必要な書類や映像等を作成し、リモートによる啓発を行うなどにより、コロナ禍においても防災意識啓発を絶やすことなく、事業の継続を図りました。	☆	総務課 南消防署
2	中学生への防災学習	被災地での活動経験が豊富な災害ボランティア団体へ業務委託し、大江中学校、桜田中学校、本城中学校の3校において防災学習を実施しました。受講後のアンケートでは、96%の生徒が「内容を理解できた」と回答しており、中学生の防災への理解が深まりました。	A	総務課
3	災害の記憶を未来へつなぐプロジェクト	昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により小学校の学芸会が軒並み中止となったため、伊勢湾台風演劇を上演することはできませんでした。しかし、児童向けの学習用冊子を区内小学校4年生全員に配布するとともに、希望する小学校に対して防災学習授業を実施することで、伊勢湾台風への理解を深めることができました。	☆	地域力推進室
4	家具転倒防止対策の推進	家具転倒防止ボランティアの派遣は、コロナ禍のため住居へ立ち入ることへの理解を得ることが困難な状況もあり9件という結果でしたが、戸別訪問事業をはじめ、学区連絡協議会等における講話や全戸配付である広報なごやの活用等、広報活動を継続的にを行い、家具転倒防止対策を推進しました。	☆	総務課 南消防署
5	伊勢湾台風資料室と防災コーナーの活用	歴史講演会「南区の地域環境史～新田開発から伊勢湾台風まで～」を開催し、伊勢湾台風が地域に及ぼした影響について、参加者の方に学んでいただくことができました。そのほか伊勢湾台風や防災に関する書籍や写真などを活用して、企画展『映画「伊勢湾台風物語」セル画展と災害からの復興』はじめ各種展示等を行い、過去の災害や防災について知っていただく機会となりました。また、貴重な伊勢湾台風資料の複製資料の作成と保存環境整備を行いました。	A	南図書館

6	地区防災カルテを活用した地域防災活動の推進	各学区においてカルテ実行委員会を組織していただきましたが、新型コロナウイルスの影響により学区・区役所・消防署の三者による地区防災カルテを活用した話し合いを実施できたのは12学区でした。 話し合いが実施できなかった学区においても、学区との情報連携や、学区の防災活動（訓練、講習会、住民啓発等）に関する打合せ等、学区の防災上必要な話し合いについては、その都度、少人数・時間短縮等の感染症対策を行った上で実施しており、防災活動について継続的に取り組んでいただきました。	☆	総務課 南消防署
7	大規模災害時における地域と事業所との支援協力体制	新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点により地域活動が制限されるなか、学区防災安心まちづくり委員及び自主防災会長に対して情報提供を実施し、大規模災害時における地域と事業所との支援協力に関する覚書を新たに5件締結しました。	A	南消防署
8	南区地域防災マップ地震編の活用促進	広報なごや南区版や防災の講習会などを通じ、ウェブサイトの閲覧及び防災マップの活用を呼びかけました。その結果、ウェブサイトへのアクセス件数は7,754件（前年比1,757件増）となり、より多くの方に防災マップを認知していただくとともに活用の促進に取り組みました。	A	総務課
9	各種防災訓練の実施・支援	コロナ禍における学区や自主防災組織、町内会等による訓練について、参加者や実施内容を限定する等の提案を行い実施を呼びかけましたが、結果的に中止となる訓練が多く、31件の実施となりました。（総合水防訓練、総合防災訓練、医療救護所訓練、災害ボランティアセンター設置訓練、障害者避難所体験訓練は、緊急事態宣言等の影響により中止） 訓練を行えない場合は、講習会の開催や、今後の訓練効果を高めることを主な目的とした資料の提供等の方法を提案し、コロナ禍においても地域の防災活動が継続されるよう努めました。	☆	総務課 南消防署
10	区役所の防災機能の充実	区本部運営訓練や消防訓練、防災研修などを実施し、区役所職員の災害対応力向上を図りました。 避難所担当職員による避難所の現地確認については、18か所（全学区）で実施し、避難所開設に必要な鍵や、使用する部屋、災害備蓄倉庫等の避難所の状況を確認することができ、円滑な避難所開設・運営支援に対する備えに資することが出来ました。 また、区内の防災関係機関に対し、区本部運営訓練の招待や、訓練の共同計画を通じ、平時より積極的に連携を図り、災害時の対応力強化に努めました。	A	総務課

11	南海トラフ巨大地震に備えた河川堤防の耐震対策	山崎川堤防の耐震対策工事を実施しました。	A	南土木事務所
12	配水管の更新及び耐震化	配水管布設後の経過年数や埋設されている土壌の腐食性等から老朽度を評価し、更新優先度の高いものから計画的に更新及び耐震化を実施しました。また、名古屋市地域防災計画に定められた防災拠点である指定避難所や地域防災活動拠点等へ至る配水管について、優先的に耐震化を実施しました。	A	上下水道局
13	下水道による浸水対策	南区呼続四丁目始め南区内各所において、改築・更新にあわせた下水管の能力増強を実施しました。また、内浜ポンプ所の改築・更新にあわせ、増強に向けた工事を進めています。	A	上下水道局
14	地域と連携した防災・減災力の向上	新型コロナウイルス感染症の影響により、各種防災訓練への参加はできませんでした。こうした状況においても「自助・共助」に関する行動について知っていただくため、令和2年度に新たに作成した水の備蓄や水の確保方法など、災害に備えていただきたい事項をまとめたリーフレットの配布及び局公式ウェブサイトへの掲載を行いました。	☆	上下水道局

施策2 防犯・交通安全の啓発と環境整備を進めます

事業名		取り組み結果	評価	担当部署
1	地域の自主防犯活動の支援	青色回転灯パトロールは52回実施し、特にコロナ禍における特殊詐欺の注意を呼び掛けました。また、地域でのパトロールを支援するため、南警察署とともに、2学区で青パト講習会を実施しました。 街頭犯罪抑止環境整備事業の関係では、防犯カメラについては1団体、LED防犯灯については、9団体から申請があり、これらの取り組み通じて、地域全体の防犯力の向上を図りました。	A	地域力推進室
2	防犯意識の啓発	生活安全市民運動を中心に、南警察署と連携し啓発品を使った防犯キャンペーンを行ったり、年金支給日の機会をとらえ金融機関において高齢者に対し特殊詐欺への注意喚起を行い、区民の防犯意識の向上を図りました。新型コロナウイルス感染拡大防止によるキャンペーン活動の自粛が相次ぎ、実施回数は14回でした。	B	地域力推進室

3	交通安全の対策と啓発活動	各学区における啓発は、新型コロナウイルス感染拡大防止で「ふれあい給食会」と「子育てサロン」の開催が自粛されたため、想定していた活動ができませんでした(※子育てサロン1回のみ開催)。一方、各小学校を対象とした、新1年生向けの交通安全教室や、入学説明会参加者への交通安全啓発は計61回開催し、交通安全意識の向上を図りました。	B	地域力推進室
4	交通安全施設の整備	国道247号や未就学児が日常的に利用する経路などへの防護柵設置、事故件数の多い交差点(2か所)のカラー化、区内の区画線の整備や引き直し、及び通学路検討会の要望を受けて施設の点検や対策工事を実施しました。以上により、交通事故危険箇所や通学路の安全性の向上を図りました。	A	南土木事務所

施策3 衛生的な環境を確保し、環境にやさしい暮らしに向けた取り組みを進めます

事業名		取り組み結果	評価	担当部署
1	環境教育・環境学習の取り組み	新型コロナウイルス感染症の影響により各種イベント等が中止となりましたが、自然観察会、緑のカーテン栽培講座などの事業、追加で実施した新型コロナウイルスワクチン集団接種会場におけるSDGsのパンフレット配布を通じて、エアコンの温度の適切な設定を行うなど環境にやさしい行動を促しました。	☆	公害対策室
2	環境教育・啓発活動の実施	コロナ禍において、感染対策を施した上での開催も試みましたが、相手方と調整がつかず、目標回数を下回る実施となりました。(目標回数：6回、実施回数：2回)	C	南環境事業所
3	人とペットが共生できるまちづくり運動	令和2年度は中止となった狂犬病予防集合注射を令和3年度は実施し、会場での啓発を行ったほか、動物病院での啓発物の配布、保健センターに来所された飼主に対する啓発など計16回の啓発キャンペーンにより、マナー向上に取り組みしました。また、猫の身元表示のための首輪を作成・配布することで、野良猫と管理している猫との区別がわかりやすくなるよう取り組みました。	B	保健管理課

【めざすべき南区の姿】 だれもが健康に暮らせるまち

施策4 高齢者が健康に、生きがいを持って暮らせるよう支援します

事業名		取り組み結果	評価	担当部署
1	南区シニアが元気になるプロジェクト	新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止しました。	D	保健予防課
2	「スマイル体操みなみ」等の普及	体操の普及啓発のための動画を紹介するリーフレットを自主グループに配布しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により地区活動の支援はできず、自主グループのある学区数の拡大はできませんでした。	C	保健予防課
3	高齢者へのマフラーの贈呈	名古屋葵ライオンズクラブと桜台高校の協力のもと、桜台高校家庭クラブの生徒が作成したマフラーを区内在住の高齢者76人に贈呈しました。 新型コロナウイルス感染症の影響により高校生から直接高齢者に手渡しできなかったため、南区老人クラブを通じてお渡ししました。 マフラーを受け取った高齢者からの感謝の手紙を区から高校生に届け、世代間交流を図ることができました。	A	福祉課
4	元気な高齢者を支援する取り組み	新型コロナウイルス感染症の影響により各種イベント等が中止になるなか、老人クラブ会員の健康の保持と親睦を進める事業は、老人福祉大会、ペタンク大会とニュースポーツ研修会を行うことができました。また、定期的に理事会を開催し情報交換などを図り、各クラブが継続的に活動を行えるよう取り組みました。	A	福祉課
5	高齢者を見守る地域づくり	高齢者孤立防止対策部会を開催し、高齢者の孤立防止に向けた関係機関の連携の推進を行いました。また、区役所内での高齢者見守りポスターの掲示や「まるはっちゅ〜ぶ」で高齢者見守りプロモーションビデオを引き続き公開しました。 「みなみシニアクイズラリー2021」の参加者に向けて、チラシに高齢者の見守りに関する4コマ漫画を掲載し、市民にわかりやすく親しみやすい内容で啓発を行い、このクイズラリーを通じて幅広い年齢層の方に「いくつになっても地域で暮らしていく」ことを考えるきっかけづくりができました。	A	福祉課 保健予防課 社会福祉協議会

施策5 障害や認知症への理解を深め、地域における支え合いを支援します

事業名		取り組み結果	評価	担当部署
1	障害者差別や虐待の防止に向けた取り組み	新型コロナウイルス感染症の影響による各種イベント等の中止により、啓発活動は行うことができませんでしたが、毎月、継続的に各関係機関と虐待差別防止会議を開催することで、延べ77件の事案について検討を行い、虐待差別の予防と迅速な対応を図りました。	B	福祉課 保健予防課
2	地域で支えあうまちづくり事業	新型コロナウイルス感染症の影響により各種イベントが開催できませんでしたが、南区自立支援協議会の毎月開催される部会（南区相談支援連絡会、要配慮者の防災を考える会、地域生活支援拠点の面的整備の会）、年3回程度開催される部会（福祉関係事業所連絡協議会、児童の生活を考える会）、随時開催される部会（地域福祉力を伸ばそう）の各専門部会や研修を、コロナの感染状況に応じて開催することで、行政・事業者・関係団体が地域課題について協議・連携することができ、地域でお互いに支え合う風土の醸成を図ることができました。	B	福祉課 保健予防課 社会福祉協議会
3	授産製品販売コーナー「ひまわり横丁」の充実	新型コロナウイルス感染症の影響によりショッピングセンター等での出張販売イベントは行うことができませんでしたが、区役所内で行う「ひまわり横丁」にて市民の方に授産製品の販売をする事業者が、R3年度は4から5事業者に増やし、延べ実施日数（R2:65日→R3:69日）や売上も微増ながら上回ること、事業所で働く障害者のやりがいづくりに貢献しました。	B	福祉課 社会福祉協議会
4	精神障害者家族教室の開催	精神的な疾患を持つ方や家族が地域で安心して生活できるように、共通の悩みを相談したり、情報交換をしたりする交流の支援のため、年間12回の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、感染症対策を実施のうえで5回の実施となりました。	C	保健予防課
5	地域のみんなで話す会	新たな2学区で「地域のみんなで話す会」を開催しました。地域の課題（困り事）を抽出・共有し、必要な社会資源やサービスを検討しイベントを企画することで、地域や関係機関の連携体制の強化につなげました。	A	福祉課 保健予防課 社会福祉協議会
6	包括的な相談支援体制の構築	制度の狭間に陥る世帯や複合的な課題を抱えた世帯の相談を42件支援につなげました。南区連絡会議については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため書面開催にて実施するとともに、集合の会議ができない分、関係各課・機関と個別に密な連絡調整を行うことで多機関協働の体制づくりを行うことができました。	A	社会福祉協議会 福祉課 民生子ども課 保健予防課

7	地域包括ケアシステムの普及啓発	地域包括ケアシステムの普及啓発を目的に区内関係機関と協働で、「みなみシニアクイズラリー2021」を開催しました。応募用紙には、高齢者の孤立防止や認知症対策、介護予防等に関するクイズや高齢者の相談先や介護予防情報等を掲載し、令和3年度目標値600名、前年度実績438名を大幅に上回る803名の方に参加いただきました。このクイズラリーを通じて幅広い年齢層の方に「いくつになっても地域で暮らしていく」ことを考えるきっかけづくりができました。	A	福祉課 保健予防課 社会福祉協議会
8	高齢者を見守る地域づくり（再掲）	高齢者孤立防止対策部会を開催し、高齢者の孤立防止に向けた関係機関の連携の推進を行いました。また、区役所内での高齢者見守りポスターの掲示や「まるはっちゅ〜ぶ」で高齢者見守りプロモーションビデオを引き続き公開しました。 「みなみシニアクイズラリー2021」の参加者に向けて、チラシに高齢者の見守りに関する4コマ漫画を掲載し、市民にわかりやすく親しみやすい内容で啓発を行い、このクイズラリーを通じて幅広い年齢層の方に「いくつになっても地域で暮らしていく」ことを考えるきっかけづくりができました。	A	福祉課 保健予防課 社会福祉協議会
9	認知症になっても安心して暮らせるまちづくり	認知症専門部会を開催し、コロナ禍により顕在化してきている認知症の問題について話し合いました。また、南図書館と共同で、認知症の啓発イベントの実施や認知症カフェの支援を行いました。さらに、認知症サポーター養成講座を開催し、216人の新たなサポーターを増やしたり、既存の認知症サポーターに対するフォローアップ講座を年度明け早々実施するための企画を行うなど、区民が認知症になっても安心して暮らせるよう認知症の支援体制構築を図りました。	A	福祉課 保健予防課
10	地域福祉活動事例の発信	地域福祉推進協議会の活動事例について、各学区の特徴的・先進的な活動事例を集め「みなみく すいしんきょう活動チャレンジ（活動事例集）」の第2版（令和4年6月発行予定）を作成しました。また、それらの取り組みを動画にし、ホームページ上にアップすることも併せて行い、区内の地域福祉活動の周知や啓発を行っています。	B	社会福祉協議会
11	「善意をつなぐプロジェクト」の実施	区民の方々からの善意を寄付物品という形で広く受け入れ、必要とする方への提供を行いました。（受入件数29件、提供件数35件） 特に新型コロナの影響で困窮されている世帯への食糧支援や感染予防のためのマスクの寄贈及び配布などを広く行いました。	A	社会福祉協議会

施策6 生涯にわたる学びやスポーツを通した生きがいを支援します

事業名		取り組み結果	評価	担当部署
1	生涯にわたる読書活動や学びの支援	新型コロナウイルスの感染防止対策をとりながら、子どもを対象としたおはなし会などの定例行事を実施したほか、一般の方を対象とした歴史講演会、認知症に関するワークショップや展示などを実施しました。図書館への来館を誘うイベントを実施する一方で、自宅から本を借りられる電子書籍サービスを6月から開始し、そのPRにも努めました。	A	南図書館
2	伊勢湾台風資料室と防災コーナーの活用（再掲）	歴史講演会「南区の地域環境史～新田開発から伊勢湾台風まで～」を開催し、伊勢湾台風が地域に及ぼした影響について、参加者の方に学んでいただくことができました。そのほか伊勢湾台風や防災に関する書籍や写真などを活用して、企画展『映画「伊勢湾台風物語」セル画展と災害からの復興』はじめ各種展示等を行い、過去の災害や防災について知っていただく機会となりました。また、貴重な伊勢湾台風資料の複製資料の作成と保存環境整備を行いました。	A	南図書館
3	生涯学習の場づくり	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の講座や事業が中止となりましたが、定員を従来より減らし、感染防止対策を徹底するなどして多くの講座や事業を実施しました。また、「みなびいふれあいまつり」も従来の形式では開催ができませんでしたが、ロビーで作品展示を行うなど、学習機会及び活動成果の発表の場の提供に努めました。	☆	南生涯学習センター（教育委員会生涯学習課）
4	生涯スポーツの推進	ユニバーサルスポーツ（ボッチャ・ディスゲッターナイン）用具貸出事業のPR動画やチラシを作成するとともに、親子ボッチャ教室、体験会の実施や用具貸出（年10回）を行うことで、ユニバーサルスポーツの地域への普及啓発に取り組みしました。	A	地域力推進室
5	みなみウォーク2021	コロナ禍のため、11月～2月までの期間に史跡散策路コースを自由にウォーキングしてもらう分散型のイベントとして開催しました。子どもから高齢者まで色々な世代の方が参加し、参加者アンケートでの満足度は97%でした。	A	地域力推進室
6	地域の運動・スポーツの振興	社会福祉協議会等からの依頼を受け、計12件延べ26回スポーツ指導者を派遣して運動指導等を行いました。コロナ禍の中で多くの地域機関・団体からのスポーツ指導者の派遣依頼が少なくなりましたが、要請に応じて地域での運動・スポーツの機会を提供しました。また、緊急事態宣言等で外出自粛生活が余儀なくされる中、（公財）名古屋市教育スポーツ協会HPから「家庭でできる各種運動」をYouTube配信しました（日本ガイシスポーツプラザ職員が出演・制作）。	A	日本ガイシスポーツプラザ

7	第20回アジア競技大会のPR	水泳・飛込み競技の会場となっているガイシアリーナで「競泳マスターズ水泳教室」「飛込み教室」「タイムに挑戦」事業等を開催しました。「タイムに挑戦」事業では水泳競技大会と同様に計時・ジャッジシステムを使用してタイムの計測会を行いました。また、アジア競技大会組織委員会制作のポスター・チラシを掲示・配架することに加え、ロビーのデジタルサイネージでプロモーションビデオを常時放映し機運醸成を図りました。	A	日本ガイシスポーツプラザ
---	----------------	---	---	--------------

【めざすべき南区の姿】 子どもがすこやかに育つまち

施策7 子育て家庭の不安感や孤立感を軽減し、子どもたちが安心して健康に育つまちづくりを進めます

事業名		取り組み結果	評価	担当部署
1	妊娠中からの子育て支援	感染症対策を講じながら、妊娠届出時等の面接を100%実施しました。また、妊娠期から支援が必要な家庭に対しては、医療機関や子育て支援機関と連携して、地域で安心して子育てができるよう支援をしました。	A	保健予防課
2	新生児・乳児期の家庭訪問	新生児・乳児訪問は、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、全数訪問を実施しました。 地域の主任児童委員が実施している赤ちゃん訪問は、希望者には面会せずにポスティングのみとする等の工夫をしながら訪問を継続し、多くの方に南区の子育て支援情報を提供できました。	A	民生子ども課 保健予防課
3	「イマドキの子育て・孫育てBOOK」の発行	多世代での子育てを楽しんでもらえるように支援するための「イマドキの子育て・孫育てBOOK」を南区子育て支援ネットワーク連絡会と連携して修正・発行し、主任児童委員による赤ちゃん訪問時や関係機関に配下することで、子育て世代の支援に取り組みました。	A	民生子ども課 保健予防課
4	子育て相談や教室の開催	子育て相談について、個別相談は実施できましたが、集団相談は新型コロナウイルスの感染リスクが高いため、一部のみの実施となりました。また、子育て教室については、感染リスクが高い事業のため、相談がハイリスクの方のみを対象に実施し、子どもの発達の特徴を捉えた、子育てに関する正しい知識の普及を図りました。	C	保健予防課

5	未利用児童を減らす取り組み	新型コロナウイルス感染症の影響により、各種相談会等が中止となるなど、出張回数は減りましたが、広報なごやや関係機関を通して周知を行うなど、保護者の皆様方に情報が行き渡るよう取り組みました。	B	民生子ども課
6	わくわく子育てまつり	新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止しました。	D	民生子ども課 保健予防課 社会福祉協議会
7	地域子育てサロンの支援	新型コロナウイルス感染症の影響により、地域子育てサロンの中止が相次ぎましたが、消毒等の対策を徹底した上で開催した一部学区サロンのうち、希望する学区サロンに対して講師の派遣を行い、子育て世帯の支援に取り組みました。	B	民生子ども課 保健予防課
8	出張子育てサロン「みつばち」での子育て支援講座	新型コロナウイルス感染症の影響や、予定していた会場が新型コロナウイルスのワクチン接種会場となり使用できなかったことにより事業を中止しました。	D	民生子ども課 保健予防課 社会福祉協議会
9	子育て支援事業の実施	新型コロナウイルス感染防止対策をとりながら、定例の「おはなし会」を始め、「子どもと本の講座」や「としょかんまつり」「工作教室」などを開催しました。また児童コーナーにおいて、本の紹介コーナーを拡充するとともに、「家庭で楽しめるおすすめ本」を多数紹介したり、おみくじや絵本の福袋などを使ったイベントを開催したりして、楽しみながら新しい絵本と出会う機会を増やすことに努めました。	B	南図書館
10	子育て困難世帯への対応と支援	子育て困難世帯に対して、コロナ禍においても電話や訪問等により状況把握に努めるとともに、関係機関と密に情報共有を図りながら、きめ細やかな支援に努めました。また、南児童館とともに開催した「ミオーの夏休み」については、内容も変更し、例年通り夏3回、冬春各1回実施し、子育て世帯の支援に取り組みました。	A	民生子ども課 保健予防課
11	こども職人工房	愛知県立名古屋工科高等学校にて開催し、49名の小学生が参加しました。高校生が講師となり、高校にある専門工具等を使用し、メダルやライトレースカー、光る電子ピアノ等を作成しました。参加者の満足度は100%であり、次世代を担う子どもたちに、ものづくりに興味持ってもらふことや、若者同士の世代間交流の促進に努めました。	A	地域力推進室

【めざすべき南区の姿】魅力あふれるまち

施策 8 歴史や文化など地域の特色を生かした魅力の向上を進めます

事業名		取り組み結果	評価	担当部署
1	みなみウォーク2021（再掲）	コロナ禍のため、11月～2月までの期間に史跡散策路コースを自由にウォーキングしてもらう分散型のイベントとして開催しました。子どもから高齢者まで色々な世代の方が参加し、参加者アンケートでの満足度は97%でした。	A	地域力推進室
2	こども職人工房（再掲）	愛知県立名古屋工科高等学校にて開催し、49名の小学生が参加しました。高校生が講師となり、高校にある専門工具等を使用し、メダルやライントレースカー、光る電子ピアノ等を作成しました。参加者の満足度は100%であり、次世代を担う子どもたちに、ものづくりに興味持ってもらうことや、若者同士の世代間交流の促進に努めました。	A	地域力推進室
3	区の花ひまわり事業	区内保育園及び小中学校にひまわりの種を配布するとともに、ひまわりを育てている園児の様子など、区内保育園にご協力いただき、区の花ひまわりのPR動画を作成しました。PR動画はオンライン開催であった区民まつりの中でも配信（令和3年度末までに206回再生、アンケートの満足度は92%）し、多くの区民に区の花がひまわりであることを知っていただくよう努めました。	A	地域力推進室
4	地域のPR動画作成事業	各学区より写真および紹介文を募集し、学区の魅力をあつめたPR動画を作成しました。PR動画はオンライン開催であった区民まつりの中でも配信（令和3年度末までに933回再生、アンケートの満足度は100%）し、南区への愛着心がはぐくまれるよう取り組みました。	A	地域力推進室
5	Mioo(ミオー)を活かした区のPR	新型コロナウイルス感染症の影響による各種イベント等の中止などにより、ミオーが地域で開催されるイベントに参加した回数は5回にとどまりましたが、区内小学校の卒業生にミオーをデザインしたクリアファイルをプレゼントするなど、ミオーの認知度向上を図り、南区への愛着心がはぐくまれるよう取り組みました。	☆	企画経理室
6	文化芸術活動の推進	コロナ禍のため、春・秋のいけ花展、園芸展は中止しました。また、市民美術展の中止に伴い、区民美術展も中止となりましたが、区民まつりの中でリモート美術展を開催し、応募のあった作品をWeb上で公開（視聴回数237回）することで、文化や芸術に親しむ機会を提供しました。	☆	地域力推進室

7	みなみシニア吹奏楽団の運営	新型コロナウイルス感染拡大により5月の定期演奏会では定員を50%にするなどの影響もありましたが、中部国際空港への出張コンサートや区民まつり（動画配信）など、各種イベントにも感染対策を十分に行い団員たちが安心して活動できる環境づくりが提供できました。またSNSでの情報発信や動画配信にも取り組みました。	☆	南文化小劇場
---	---------------	--	---	--------

施策9 区民の交流や地域の担い手づくりを支援し、地域の活性化を進めます

事業名		取り組み結果	評価	担当部署
1	南区区民まつり	来場人数を制限した上で現地開催し、その模様をYouTube配信する形での実施を予定していましたが、依然として有観客での実施は困難であるとの判断から、オンラインのみでの開催となりました。充実したオンラインコンテンツを多数用意し、のべ17,000人を超える方に楽しんでいただき、アンケートの満足度は96%でした。	A	地域力推進室
2	学区の花事業「学区に花を咲かせよう」	学区の花等の植栽活動に補助を行うことで支援しました。参加を希望した団体数は15団体でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により1学区が植栽を中止したため、最終的な参加団体は14団体でした。	B	地域力推進室
3	地域課題研究会	大同大学や関係行政機関と連携・協働し、それぞれのノウハウを活かしながら地域課題の解決をめざすため、地域課題研究会を設置し、防災と交通安全の2つの分野で地域課題の解決に向けた調査・分析を行いました。具体的な解決策の実現には至りませんでした。	C	企画経理室

区政運営の取り組み

施策10 区民サービスと区政に対する信頼性の向上を進めます

事業名		取り組み結果	評価	担当部署
1	接遇の向上	外部講師による「クレーム対応研修」として、クレームを言う側の心情をふまえた上での的確な対応を身に着ける点を主眼とした研修を実施しました。また、「説明力向上研修」を実施し、相手側の理解に寄り添う接遇力の向上を図るとともに、所属ごとの「接遇リーダー」による所属内へ研修内容のフィードバックを行い、職場への周知・展開を図りました。これらの取り組みにより接遇意識が醸成され、窓口アンケートの満足度が前年度96.1%から当年度99.1%と2.5ポイント上昇につながりました。	B	全課・室

2	窓口状況サイト及びお呼出メールサービスの導入	令和2年7月より、来庁前に窓口の待ち人数等の混雑状況を把握できる窓口混雑状況サイトや待ち時間を窓口以外でも過ごすことができるお呼出メールサービスの運用を開始し、窓口の混雑緩和を図っております。さらに、令和2年12月からはマイナンバーカードの窓口にも拡大しています。	A	市民課
3	快適な庁舎環境の整備	駐車場警備員を引き続き配置し、入場時の的確な誘導により、繁忙期や繁忙日における混雑緩和に努めました。 また、1階フロアの公衆無線LAN (Free Wi-Fi)は継続して設置 (2基) することで、市区ウェブサイト、公式LINE等の情報が1基当たり30台まで閲覧できる環境となり、お客様が待ち時間を快適に過ごすことができるようにしています。	A	総務課 市民課
4	ひまわり会議	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、令和3年5月と令和4年3月に書面開催し、区民の方々の区政への参画を図るとともに、区政全般に関する意見聴取を行いました。	B	企画経理室
5	区民アンケート	令和3年10月に、無作為抽出した18歳以上の区民2,000人を対象とした区民アンケートを実施し、区民の方々の意識や行政ニーズなどの把握に努めました。なお、アンケート回収率は46.0%でした。	A	企画経理室
6	学区担当制	各学区に学区担当主任を配置し、地域の主な行事・活動等に参加することにより、地域課題やニーズの把握、また、地域の方々との連携を深めるよう努めました。なお、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による地域行事の中止等もあり、平均参加回数は4回となりました。	B	企画経理室
7	SNSを活用した区のPR	ミオアのInstagram及びFacebookに、区役所の取り組みに関する情報や地域の魅力、イベントの紹介など43回投稿し、南区に関する情報発信に努めました。その結果、Instagramのフォロワー数については昨年度比で87人増えて169人となり、より多くの方に南区の情報を紹介できました。	A	企画経理室
8	みなみカップの開催 (業務改善への取り組み)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため (市) なごやかカップの開催が中止になったことに伴い、(区) みなみカップも開催を中止しました。それにより、各所属で取り組まれた事例の水平展開の機会がありませんでした。	D	全課・室

9	情報の適正な管理と保護	内部統制にかかる職場会議を各所属で実施し、リスクの洗い出しから防止策、各職場での情報管理にかかる規定の確認等を行いました。また、全職員向けに実施した「公務員倫理研修」等において、事務処理誤りの防止や個人情報保護についても確認を行いました。なお、個人情報漏えいにつながった事務処理誤りが3件発生しました。	C	全課・室
10	スマート窓口の検討	本市の今後の窓口改善に向けた取り組みの参考とするため、他自治体の窓口業務改革に関する取り組みを調査するとともに、南区役所の主な窓口担当課における現行業務のプロセスや業務量などを調査し、その結果から分析した課題への対応方針を取りまとめ、「スマート窓口」の将来像とその実現に向けた取組案を取りまとめました。 また、区役所窓口のスマート窓口化の全市的な推進に向けて、区役所及び関係局の職員で構成されるプロジェクトチーム会議に参加し、情報共有を図りました。	A	全課・室